

編集委員会報告

1. 学会誌 Vol.25, no.1 の論文投稿状況及び発行予定日

- ・ 投稿論文 9 編、研究ノート 3 編、博士論文要旨 1 編の投稿についての査読・編集集中。
- ・ 第 26 回研究大会公開シンポのまとめ、及び書評 3 編について編集集中。
- ・ 2025 年 9 月中発行予定。

2. 学会誌 Vol.25, no.2 の投稿論文募集及び発行予定日

- ・ 次々号の締切を 2025 年 7 月 14 日（月）として投稿募集中。研究大会報告者の投稿も想定。
- ・ 2026 年 3 月中発行予定。 <https://janpora.org/npreview/>

3. ディスカッションペーパーの投稿受付

- ・ DP の投稿が 3 件あり以下サイトで公開した。

<https://www.janpora.org/dparchive/>

4. 定期刊行について

- ・ 学会誌の定期刊行に向け、編集事務を委託しているレタープレス様と協議し、以下のような刊行スケジュールを試行する予定である。投稿締切日は、6 月の研究大会における報告者が時間をおかずに論文投稿できること、かつ年度内に 2 回発行できること、を基準に設定している。なお、査読に時間を要し予定された巻号の掲載が間に合わない投稿論文については、その次の号への掲載とする。

(1) 学会誌 Vol.XX, no.1

投稿締切日：1 月中旬、発行：9 月中

(2) 学会誌 Vol.XX, no.2

投稿締切日：7 月中旬、発行：翌年 3 月中

5. 投稿論文早期公開料について

- ・ 学会誌掲載が決定した論文については J-Stage での早期公開制度の利用（例えば、9 月発行号に掲載が間に合わない場合でも、翌 3 月まで待たずに公開）が可能であるが、その場合、著者が 3,000 円を負担する慣例になっている（レタープレス社に直接支払い）。今後はこの費用を学会負担とすることを検討している。仮に該当者全員が利用したとしても、学会負担は年間 2 万円程度の見込みである。
- ・ 理由は、(1) 投稿論文の査読に時間を要した場合、特に「学会側の都合で」予定された号への掲載が間に合わない場合に、代案として有料の早期公開制度は推奨しにくいため、そして、(2) 若手投稿者の費用負担を軽減するため、である。

以 上